

Import Pressure and Merger Evaluation: A Case of Japanese Copper Tube Industry

Tsuyoshi NAKAMURA (Tokyo Keizai University)

and Hiroshi OHASHI (University of Tokyo)

January 2017

概要

本稿は、輸入圧力の存在が実際にどの程度合併企業の価格上昇を抑制していたのかを、合併シミュレーションによって定量的に検証した分析である。分析対象は、日本の純銅管市場における合併であり、実際に合併審査時に輸入圧力の有無が論点となった事例である。

輸入圧力は輸入供給関数によって捉えられ、輸入を **competitive fringe** として扱うことでモデルに組み込んだ。簡易なモデルではあるが、推定されたモデルから得られる価格、生産量、輸入量などの値は、実際に観察された値に近く、シミュレーションのモデルとして有用なものであるといえる。

シミュレーションの結果、合併によって輸入は 12~23% 増えるものの価格上昇を抑えるには十分ではなく、製品価格は 8~11% 上昇することが示された。